

情報モラルカリキュラムの活用について

2011. 3. 1

情報化社会と教育・文化活動部会

社会の情報化の急速な進展に伴い、インターネットや携帯電話が普及し、子どもたちがインターネット上の違法・有害情報に遭遇したり、犯罪に巻き込まれる事件が多発しており、情報モラル教育の充実が求められています。そこで今年度本部会では、学年1～2時間の内容で小学校3・4・5・6年生の情報モラルカリキュラムを作成しました。

児童生徒の発達段階により、小学校低学年や中学校でも十分対応できると思われまますので、ご利用いただけたら幸いです。

学年	学年目標	学習内容
3年	互いに相手の立場を考え、 た言葉づかいができる。	悪口などの暴力に注意し、優しい言葉 や丁寧な言葉を使う。
4年	個人情報や安易に教えたり、 間違った情報を送受信 することがないよう情報を 大切に扱うことができる。	自分の情報や他人の情報を大切にする。 (著作権) 知らない人に名前や住所・電話番号な ど大切な情報を教えない(セキュリティ)
5年	メールの特性を知り、危 険情報に出会ったときは、 適切に対応することができる。	不適切な情報であるものを認識し対応 できる。(チェーンメール・なりすまし)
6年	不適切な情報に出会った 場合に情報の真偽を判断す るなど適切に対応すること ができる。	不適切な情報に出会ったときは、大人 に意見を求め、適切に対応する。(有害 サイト) 危険に近づかない(安全性)

東山梨教育協議会のホームページ【<http://www.e103.net/>】のリンク
に掲載致します。ご活用下さい。